

令和8年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和7年度の振り返りと令和9年度の取組検討）

施策No	231			
施策名	文化芸術活動の推進			施策の目的
施策主管部長			産業文化スポーツ部長	施策幹事課長
			文化推進課長	関係課
				文化財課

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察

①中期基本計画の指標 目標年度(令和7年度)の目標値達成状況

	指標	単位	実績基準値	実績値				目標値	最終年度（R7）の 目標値達成状況	左欄の「目標値達成状況」の総括
			R2	R4	R5	R6	R7	R7		
a	文化活動を行うか、美術館等での講演・展示会などに参加・鑑賞している人の割合	%	39.3	43.1	47.9	47.4	47.0	58.0	③目標値を下回った	アフターコロナの生活が定着してきた中で、文化活動が本格的に再開し、イベントは増加傾向にあるが、目標値には達しなかった。市民等へ効果的なPR方法を考える必要がある。
b	市内の文化財、郷土芸能を知っている人の割合（天明鑄物）	%	69.4	72.5	72.9	74.2	70.8	77.0	③目標値を下回った	天明鑄物の国の商標登録や生産用具の国重文指定などによりメディアにおける掲載回数が増加し、また、市民向けのワークショップなどは概ね盛況であったが、目標値には達しなかった。認知度向上に結び付くPR方法を考える必要がある。
c	施設利用者の満足度の割合	%	84.6	83.3	86.0	80.3	86.3	87.5	③目標値を下回った	あくとプラザ等において質の高いサービスを提供したことにより、昨年度より実績値は向上したが、文化会館リニューアル工事により、文化会館を利用できないこと自体が目標値の伸びに影響を与えたものとする。
d										

②後期基本計画 施策の対象・目的及び指標の設定 ※令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート「3. 後期基本計画策定のための施策の必要事項管理シート」から転記

対象		対象指標			単位	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	R9(見込)	R10(見込)	R11(見込)
①	市民	市の人口（社人研推計）			人	115,700	114,695	113,498	112,515	111,388	110,515	109,641	108,768
②	文化芸術施設	市内の文化芸術施設数			館	3	3	3	3	3	3	3	3
③													
④													
目的		成果指標		単位	区分	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
・文化芸術に触れる機会を提供し、市民の文化活動の活性化を図ります。 ・天明鑄物を積極的に情報発信し、地域の活性化を図ります。 ・文化芸術活動の拠点となる文化芸術施設を安全で安心して利用できるよう、文化芸術施設の適切な維持管理を行います。	①	日頃から文化芸術活動に参加・鑑賞している市民の割合	%	目標値	53.5	55.0	56.5	58.0	51.6	53.7	55.9	58.0	
				実績値	43.1	47.9	47.4	47.0					
	②	天明鑄物を知っている市民の割合	%	目標値	75.5	76.0	76.5	77.0	77.5	78.0	78.5	79.0	
				実績値	72.5	72.9	74.2	70.8					
	③	施設利用者の満足度の割合	%	目標値	86.0	86.5	87.0	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5	
				実績値	83.3	86.0	80.3	86.3					
	④			目標値									
				実績値									

(2) 基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）

・美術館と連携し、市民が芸術に触れる機会を確保します。
（吉澤記念美術館において、東京国立博物館から国重文指定のエラスムス立像や天明鑄物の燈籠をはじめとする作品の貸与を受ける特別企画展を開催し、本市の豊かな文化芸術と歴史に触れる機会を創出した。）
・貴重な文化資源である天明鑄物、牧歌舞伎、菓蟲譜等を積極的に活用することにより、地域の活性化につなげます。
（天明鑄物は、令和5年に地域団体商標登録、令和6年に生産用具及び製品の国重文指定が実現し、地域活性化につなげる新たな契機となった。また、海外展開としてシンガポールにおいて、本市職員が出向しているクレアシンガポールと連携し、プロモーション活動を実施した。）
・文化芸術施設の改修及び設備の更新等を計画的に行い、適切な管理・運営に努めます。
（民間活力を活かしたDBO方式による文化会館リニューアル事業に着手し、工事の進捗監視を行っている。）
・次世代を担う子どもたちが本物の文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供します。
（子どもふれあい文化芸術事業は、実施したすべての小学校から「効果を感じた」「心の醸成に必要」「継続して活用したい」とアンケート回答を得た。）

②計画通り進捗していない取組 ※理由及び今後の対応も含めて記載

・佐野市文化協会や公益財団法人佐野市文化振興事業団等との連携を図り、文化の担い手となる人づくりを進めます。
（文化協会は、自立化と若年層の加入促進の取組への支援が引き続き必要である。また、文化活動に参加・鑑賞している市民の割合を増やすため、市民文化祭や吉澤記念美術館の企画展等のより効果的なPR等の方法を検討する必要がある。）
・貴重な文化資源である天明鑄物、牧歌舞伎、菓蟲譜等を積極的に活用することにより、地域の活性化につなげます。
（天明鑄物の認知度向上のために、PR活動（体験型ワークショップの開催や展示等）を継続する。）

(3) 令和7年度行政経営方針の取組状況

①令和7年度行政経営方針

・文化会館リニューアル事業に関し、令和9年4月のリニューアルオープンに向けた事業の進捗管理を行うとともに、令和8年4月からの予約受付業務開始に向けて利用料金や運用方法等を整理し、例規整備を行う。
・文化協会の業務効率化と活動の活性化を図るため、相談支援を行う。また、若年層が文化芸術活動に関心を持てるようになるための取組を行う。
・こどもの頃から良質なものに触れ、文化芸術に親しむ大人に育つように、アーティストが学校を訪問するアウトリーチ事業を有効活用する。
・天明鑄物の活用に関し全庁的に取り組むための情報共有や鑄物事業者への橋渡しを行う。また、商品開発や販路開拓とあわせ、歴史文化面でのPR強化のための地域おこし協力隊員による活動を支援する。
・吉澤記念美術館所蔵の伊藤若冲「菓蟲譜」の公開を定例化し、来館者増につなげる。あわせて、所蔵美術品のデジタル化について、県の事業と連携して進める。
・天明鑄物の資料や生産用具、作品のほか、市が所蔵する美術品等の収蔵施設の研究にあたり、現状の所蔵品の数量及び所蔵状況や他市の状況等の調査を進める。

②令和7年度行政経営方針の取組状況

・文化会館リニューアル工事に関し、随時、工事業者と進捗管理を行った（リニューアルオープン時期及び予約開始時期は未確定）。利用料金について検討し、新たな設備等の料金について例規整備を行った。
・文化協会の担当職員が、正副会長会議等に出席し、業務効率化と活動の活性化のため、相談支援を行った。
・子どもふれあい文化芸術事業を実施し、子どもたちの豊かな心を育むため、本物の音楽や美術等に直接触れる機会を提供した（延べ10校13回）。
・天明鑄物のイベント等について、SNSや庁内インフォメーションを活用し、職員に情報共有を行った。海外での販路開拓の足がかりとして、クレアシンガポールへ出向中の本市職員と連携し、天明鑄物のプロモーション活動を実施した。また、地域おこし協力隊の活動（鑄物展の開催等）を支援した。
・吉澤記念美術館の「菓蟲譜」の公開を行った。所蔵美術品のデジタル化は、県と連携して進めた。
・天明鑄物関連の収蔵施設について、庁内横断的に意見交換を行った。

(4) 環境変化や関係者の意見、要望等

・特に令和8年度においては、海外での販路開拓の足がかりとして、本市職員が出向しているクレアシンガポールと連携し、天明鑄物のプロモーション活動を実施する。
・国の文化芸術推進基本計画（第2期）では、文化芸術は人々の創造性を育み、豊かな人間性を涵養し、心豊かで多様性と活力のある社会を形成する源泉とし、「文化芸術と経済の好循環」を実現するための取組を推進している。
・県の栃木県文化振興基本計画（第2期）では、とちぎの文化を担う人づくり、とちぎの文化に親しむ環境づくり、とちぎの文化を活かした地域づくりを取組の方向性としている。
・市議会の質問等の主なものは、文化会館のネーミングライツ導入、文化会館リニューアル事業の進捗状況の確認、天明鑄物のまちづくり推進事業費の効果、美術館展覧会開催事業の内容等である。

2. 課題と次年度（令和9年度）の取組

(1) 課題

①若者が文化活動全般に触れる機会の提供及び次世代の担い手育成
②天明鑄物の継承のための取組
③市が所蔵する美術品等を適切に収納するための調査、及び庁内横断的な天明鑄物の資料や生産用具、作品等の収蔵施設の研究
④美術館等文化施設の来館者数増のための取組
⑤吉澤記念美術館の収蔵作品のデジタル化の推進
⑥文化会館リニューアル事業に関し、工事の進捗監視、リニューアルオープン日及び予約受付開始日の決定、リニューアルオープンに向けた準備

(2) 課題に対する今年度(令和8年度)内の取組状況、予定

①子どもふれあい文化芸術事業の実施(11校12回)
②佐野市天明鑄物振興協議会を中心に、市内でのイベント開催、都内での展示商談会出展、海外展開（シンガポールなどにおけるプロモーション活動）など、天明鑄物の認知度向上のための取組を行う。
③市が所蔵する美術品等を適切に収納するため、美術館収蔵庫を補完する施設の検討を行う。また、天明鑄物の保管展示活用施設について、庁内横断的に協議の場を設け、検討を行う。
④吉澤記念美術館において、通常の企画展に加え、特別企画展「若冲がやってきた」を開催し、来館者増を図る。
⑤県の事業と連携して、引き続き吉澤記念美術館の作品のデジタル化を進める。また、作品ポジフィルムデジタル化も進める（全ポジフィルムの約70％をデジタル化）。
⑥文化会館リニューアル工事業者、指定管理者等と十分に協議し、リニューアルオープン日及び予約受付開始日等を決定し、円滑な予約受付業務を行う。

(3) 次年度(令和9年度)の取組(案)

①プロのアーティストが学校訪問する「子どもふれあい文化芸術事業」について、子どもたちの豊かな心を育むため、小学校や義務教育学校へ周知し、活用促進に取り組む。また、文化協会の会員数を増やすことは、市民が文化芸術に触れる機会の充実に結び付くため、特に若年層の加入促進の働きかけに取り組む。
②天明鑄物のさらなる認知度向上を目指すため、天明鑄物の情報発信や佐野市天明鑄物振興協議会の事業に対する支援等に取り組む。
③市が所蔵する美術品等を適切に収納するための調査、及び庁内横断的に天明鑄物の資料や生産用具、作品等の収蔵施設の研究を進める。
④吉澤記念美術館において来場者の増加を図るため、「菓蟲譜」を定期的に公開するとともに魅力ある企画展等の開催に取り組む。
⑤吉澤記念美術館の作品ポジフィルムのデジタル化の推進に取り組む（全ポジフィルムの約86％をデジタル化、令和10年度で完了見込）。
⑥文化会館リニューアルオープン後の利用状況、利用者の満足度のアンケート等を踏まえ、円滑な運営に取り組む。